

2019年1月23日（火）
地域包括マッチング実践セミナー

市民力等による地域包括ケアの取組み
～持ちつ持たれつ、お互いさまの構築～

埼玉県 志木市役所

志木市の地域包括ケアシステム構築の取組方針を決定

市の全ての所属においてあらゆる資源を活用し、市役所全体で取り組むため、「取組方針」を庁議決定

⇒ 志木市では、次の2つの柱をもとに市役所全体で取り組むとしました

① 予防・生活支援

- ・ 社会参加を促進し、健康づくり・自助につなげる。
- ・ 地域活動を多様化し、自助・互助につなげる。
- ・ 地域活動を生活支援や介護サービスへと展開する。

② 医療・介護・住まい

- ・ 地域の医療・介護・住まいの資源を最大限活かしつつ、連携及び体制づくりを強化する。

① 予防・生活支援でのマッチング事業例

① 地域活動の支援

- ・ 町内会やPTA活動など、地域に密着した団体の活動の強化のための考察・分析や自立運営支援
- ・ 地域で取り組む新たなまちづくり など
(町内会 37団体、PTA 12校 他 地域活動など)

② アクティブシニアの地域デビュー

- ・ 地域が求める人材とアクティブシニア等を結び付け、就業やボランティア、地域活動等の地域デビューを促進 など

!! イベントなども含め、町内会等の重要な地域活動の活性化や、ボランティアを含む人材育成などの協働を期待しています

② 医療・介護・住まいでのマッチング事業例

① 医療と介護連携など

- ・ 志木市の在宅医療・介護連携事業の評価・分析
- ・ 医療職や介護職の意識の底上げなど活動の活性化に向けたアプローチ
- ・ 市民へのセルフケアの啓発、住民の地域活動の立上げ支援
- ・ 認知症カフェや市民の集いの場の提供
- ・ 店舗などを活用した食や健康づくりの案内 など

!! 医療資源が乏しいので、保健や医療面で充実できる事業など、皆様との連携や協働を期待しています
志木市と一緒に地域を盛り上げませんか？

志木市参加のきっかけとオファー状況

➤ 参加のきっかけ

何としても地域づくりを進めたい。でも理解されにくい …そんなとき！

➤ 地域の現状

75歳以上人口

・2010年	5,056人	
・2025年	11,239人	約2.2倍

上昇率は全国 38位 / 1,741 市区町村

- ・年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口は今後も増加傾向が続く
- ・医療や介護サービスの需要の激増が見込まれる

➤ 民間・大学のオファー状況

- ・業種：食品1社、医薬3社、介護2社、IT3社、旅行1社、大学3校
- ⇒ 計 13 件のうち 食品業1社、大学1校との連携事業を実施中

➤ 参加直後

- ・事業者から連絡などが集中
- ・相手方オファーの趣旨が分かりにくい(改善されるとのこと)



マッチング事業参加のその後

➤ 参加の効果

産官学等との連携で協働事業が **スタート!!**

1 ハウス食品グループ本社(株)との地域の担い手づくり事業

- プロジェクト・チームで事業化を検討
- 公民館事業、食育推進計画事業(検討中)

2 埼玉県立大学との協働による在宅医療介護連携事業

- 専門職へワークショップ等でスキルアップ
- 取組評価指標の検討や医療ニーズの推計など

3 他の連携

- 平成30年10月 成年後見制度の利用促進に関するシンポジウム
- 同 12月 地域包括ケアの幹部職員研修

➤ 期待したいこと

- 行政側の不慣れ・大学と民間とのコラボの差など
⇒ モデル事業等の成果を広く自治体へ周知する



参加意見まとめ

- 😊 面識やつながりのない民間企業や大学とコラボする貴重な機会
- 😊 何より「地域包括ケアシステム」とは何かを通じ、行政に親身
- 😊 一緒の苦勞をいとわない協働とスキル

⇒ 協働を育むためには 自ら “つながる” & “つなぐ” が大切



カバル ©(財)志木市文化スポーツ振興公社 <http://www.sbs.or.jp>

～ 市民力でつくる
未来へ続くふるさと志木市へ～

志木市広報大使「カバル」

ゆるきゃらグランプリ1位！ご声援ありがとうございます

▶ ご清聴ありがとうございました

① 予防・生活支援

平成30年度から健康に暮らせる仕組みづくり

「地域包括ケア スタートアップ・プログラム」をスタート!

→ 市のプログラム事業で、市民力を高め **“自助・互助”** などに生かせる地域活動や健康づくりを市全体で応援、推進します

① 社会参加を促進し、健康づくり・自助につなげる。

地域活動の活性化が、高齢者等の社会参加・仲間づくりにつながる。

② 地域活動を多様化し、自助・互助につなげる。

地域活動の種類や仲間が広がり、地域の支え手になる。

参加者

担い手

団体数

を増やし発展させたい
(数値目標を設定)

② 医療・介護・住まい

平成26年度から在宅医療・介護連携等の仕組みづくりに取り組んでいます

➤ 在宅医療・介護連携と認知症施策を推進

● 8つの項目で在宅医療・介護の連携推進

在宅医療介護講演会や情報誌の発行などの啓発
医療・介護の専門職で連携ツールの検討推進 など

● 「認知症初期集中支援事業」などの支援

医療・介護の専門職の連携でチーム編成し、
認知症の人や家族を早期に訪問支援 など

➤ 予防と地域づくりのため 要介護者等も 参加できる通いの場を 立上げ支援

・「いろは百歳体操」 現在20か所 約500人参加

